

# 授業ナビシート（読み解く力 ver.）

# 3年 理科 「地球とその外側の世界」

## ○単元で育成したい資質・能力（一部）

- (1) さまざまな惑星の環境について関心をもち、調べている。  
太陽系の外の宇宙について関心をもち、どのような天体があるかを調べている。【興味・関心・意欲】
- (2) 地球型惑星と木星型惑星の特徴を理解し、その違いを考えることができる。  
黒点の移動から太陽が自転していることを推測している。【科学的な思考・表現】
- (3) 天体望遠鏡を用いて、安全に太陽表面を観察することができる。【観察・実験の技能】
- (4) 惑星（地球）以外の太陽系の天体にはどのようなものがあるか理解している。  
太陽系、銀河系、銀河の構造について理解し、知識を身に付けている。【知識・理解】

## ○本時のめあて（付けたい力）

- ・ **惑星の特徴を資料から見つけて分類しよう。**  
→さまざまな惑星の環境について関心をもち、調べている。【関心・意欲・態度】  
→地球型惑星と木星型惑星の特徴を理解し、その違いを考えることができる。【科学的な思考・判断・表現】

## ○本時の展開（児童の反応予測・思考の流れ、板書計画等）

<p>(1) <b>課題を見つける（3分）</b> 太陽系の構造と惑星の特徴について確認する。 惑星について分かっている部分と 分かっている部分を意識させる。 【課題】惑星の特徴を資料から見つけて分類しよう</p>		<p>(4) <b>共に学び合う（25分）</b> ※各班に発表用のシート・資料を配布 各自の考えを交流し、班ごとに分類を 思考ツール（ベン図）を用いてまとめる。 分類した結果・ポイント・理由をまとめる。 各班の発表（1分×6班） 他の発表のポイントをメモする。</p>	<p>(6) <b>学習を振り返る（7分）</b> 地球型惑星と木星型惑星に ついて、自分の考えと照ら し合わせて振り返りを行う。 【個人の学び】 これからの学習に 出てくる内惑星や外惑星の 分類についても紹介し、他の分類 についても考えられないか各自の 再構築を促す。</p>
<p>(2) <b>見通しをもつ（2分）</b> これまでに学習した分類例を基に、 作業の手順について確認する。</p>		<p>(5) <b>学習をまとめる（分）</b> 各班の発表の後、どの分類の説明が最も 説得力のあるものであったか、情報を整 理する。</p>	

惑星は、質量や密度の大きさによって、地球型惑星と木星型惑星の2つに分類されている。

## ○二つの側面、三つのプロセスとの関係

二つの側面  
A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力  
B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力

三つのプロセス  
①…発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す  
②…分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する  
③…理解・再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する

  自分の考えを形成するA①・A②  
→資料から情報を発見し、情報を比較・整理する。

  相手の意図や思いを正確に理解するB②  
→他の班の発表を聞き、情報の比較を行い、よりよい内容を選択する。

  自分なりに解決し、知識を再構築する  
A③B③  
→振り返り、自分で考えを深める

課題発見・解決のプロセス 課題を見つける ≫ 見通しをもつ ≫ 自分で考える ≫ 共に学び合う ≫ 学習をまとめる ≫ 学習を振り返る ≫ 新たな課題を見つける

※課題発見・解決のプロセスに示された視点は、「平成30年度学校教育の指針」(滋賀県教育委員会)で示されているものです。児童の実態や育成したい資質・能力、単元における本時の位置付け等に合わせて順序を入れ替えるなどして、ご活用ください。

